

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和7年2月21日

多治見市議会 議長 様



会派名 自民クラブ

7 番議員 氏 名 加藤 智章

質問題名	市所有地を活用した企業誘致について
質問要旨	多治見市の人口増加およびさらなる活性化の一環として、地元への企業誘致は重要な政策です。 現在、笠原地区においてテクノパーク事業が展開される一方で、今般産業人材の確保や、移住定住施策と企業誘致の連携はとても大切だと考えます。 大きな賑わいが期待される一方で、防災や治安の面における新たな課題も想定されます。 市民がより豊かに安全に生活する上での課題について質問いたします。
質問項目①	各々、具体的な契約内容やスケジュールはどうなっているのか？ また誘致に伴う市の財政負担はどの程度見込まれるか？
質問項目②	企業誘致に伴う路線バス等のインフラ整備は、どのようなものが予定されているか？
質問項目③	近年の企業誘致の実績と、他自治体と比較した際の強み・弱みについて、市の見解を伺います。
質問項目④	企業が多治見市を選ぶために、今後どのような施策を検討しているのか、具体的な計画を教えてください
質問項目⑤	企業誘致による多治見市の活性化を定量的に判断するためには、どのような指標が適していると考えられるか？
質問の相手方	経済部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和7年2月21日

多治見市議会議長様



会派名

自民クラブ

7 番議員 氏 名 加藤 智章

質問題名	「タイルの漢字制作」について
質問要旨	タイルは古代文明以来、人類に欠かせない建築資材として発展して来ました。日本では、明治時代に本格的に輸入され大正時代には国内タイルも隆盛を極めていましたが、昨今の建材の均質化や合理化が進むにつれて低迷しています。 タイルの存在感と理解を深めるためにもタイル漢字制作することでタイルを身近に感じてもらうきっかけにするために業界が努力しています。タイルの産地であり、聖地である多治見市が「タイル」漢字制作することはとても意味深い事だと考えます。 産業振興・文化振興そして地域活性化に繋げるために質問いたします。
質問項目①	タイルをより身近に感じてもらう為に、「タイル漢字」を公募することは本市としての考えは？
質問項目②	産業振興・文化振興施策として支援は可能ですか？
質問項目③	タイル漢字の決定後、本市の観光・文化施策に活用する意向はありますか？
質問の相手方	経済部長